特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

REC'D 07 OCT 2004

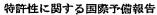
WIPO PCT

(法第12条、法施行規則第56条)

[PCI36条及UPC	1 規則 / 0]		
出願人又は代理人 の書類記号 ONF-4610PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP03/08420	国際出願日 (日.月.年) 02.07.20	優先日 (日.月.年) 03.07.2002	
	1K 45/00, 38/17, 39/395, 31/7088, A6 2Q1/02, G01N33/50,A01K67/027	S1P31/00, 35/00, 35/04, 37/04, C12N5/10,	
出願人(氏名又は名称)		•	

出願人(氏名又は名称) 小野薬品工業株式	会社
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する	
2.この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で	5 ページからなる。・
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a	5. .
補正されて、この報告の基礎とされた及び/又は 囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び)	はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細審、請求の範 実施細則第607号参照)
□ 第Ⅰ欄4.及び補充欄に示したように、出願時間 国際予備審査機関が認定した差替え用紙	こおける国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの
b 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ ブルを含む。(実施細則第802号参照)	(電子媒体の種類、数を示す)。 夕読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。	•
 ※ 第 I 閥 国際予備審査報告の基礎 第 II 閥 優先権 ※ 第 II 閥 新規性、進歩性又は産業上の利用可算 第 IV閥 発明の単一性の欠如 ※ 第 V 閥 PCT35条(2)に規定する新規性、けるための文献及び説明 ※ 第 VI 閥 ある種の引用文献 第 VII 閥 国際出願の不備 第 VII 閥 国際出願に対する意見 	「能性についての国際予備審査報告の不作成 進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付
国際予備審査の請求審を受理した日	国際予備審査報告を作成した日

国際予備審査報告を作成した日 16.09.2004		
特許庁審査官(権限のある職員)	4 P	9638
	泉 3 4	492
	16.09.2004 特許庁審査官(権限のある職員) 榎本 佳予子	16.09.2004 特許庁審査官(権限のある職員) 4P



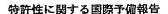
国際出願番号 PCT/JP03/08420

		<u></u>
第I櫚	報告の基礎	
1. 50	の国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか	か、国際出願の言語を基礎とした。
	この報告は、 語による翻訳文を それは、次の目的で提出された翻訳文の言語であ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査 PCT規則12.4にいう国際公開 PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	る。
	D報告は下記の出願眥類を基礎とした。(法第6彡 た用紙は、この報告において「出願時」とし、この	条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され D報告に添付していない。)
×	出願時の国際出願書類	
	明細書 第 ページ、 第 ページ*、 第 ページ*、	出願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	請求の範囲	
	第	
	図面 第	出願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。	
3. 🗌	補正により、下記の書類が削除された。	
	□ 明細書 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載する	ページ 項 ページ/図 racと)
4.		こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超されなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
	明細告 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載する	ページ 項 ページ/図 racと) .
* 4.	に該当する場合、その用紙に"superseded"と記	入されることがある。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/08420

	<u></u>	
第四	II 樹 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成	
1.	次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性に 審査しない。	つき、次の理由により
	国際出願全体	
×	マ 請求の範囲 12-22 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2011 rHn	h •	
		をすることを要しない
	請求の範囲 $12-22$ は治療による人体の処置方法に関するもので $T34$ 条(4)(a)(i)及びPCT規則67.1(iv)の規定により、この国際予備審査をすることを要しない対象に係るものである。	
	明細書、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の範囲	・ の
	記載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体的に記載すること)。	
	•	
	•	
		、明細書による十分な
	裏付けを欠くため、見解を示すことができない。	
×	請求の範囲 12-22 について、国際調査報告が作	成されていない。
_	ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が、実施細則の附属 魯C (塩基配列又はアミノ酸配列を含むのガイドライン) に定める基準を、次の点で満たしていない。	明細審等の作成のため
	書面による配列表が	
	コンピュータ読み取り可能な形式による配列表が 提出されていない。 所定の基準を満たしていない。	
	コンピュータ読み取り可能な形式によるヌクレオチド又はアミノ酸の配列表に関連するテーブル Cの2に定める技術的な要件を、次の点で満たしていない。	が、実施細則の附属書
	□ 提出されていない。 □ 所定の技術的な要件を満たしていない。	
П	Olf Am June 19 Andrews (Miles and Am June 19	
	詳細については補充欄を参照すること。	•



国際出願番号 PCT/JP03/08420

第V閥 新規性、進歩性又は産業」 それを裏付ける文献及び邸		ついての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 	
1. 見解		. •	
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	27-32 1-11,23-26	有 無
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-11, 23-32	有 無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-11, 23-32	· 有 無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

(煉文)

1 : WO 01/14557 A1(DANA-FARBER CANCER INSTITUTE, INC.) 2001.03.01

2 : WO 02/00730 A2(GENETICS INSTITUTE, INC.)2002.01.03 3 : WO 02/00692 A2(GENETICS INSTITUTE, INC.)2002.01.03

4 : EP 670369 A2(ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.)1995.09.06

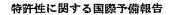
5 : BROWN, Julia A. et al, Blockade of PD-1 Ligands on dendritic cells

enhances T cell activation and cytokine production., FASEB Journal, Mar. 2002, Vol.16, No.4, pp. A710, 517.4

(説明)

請求の範囲1-11、23-26は、免疫賦活組成物、癌治療組成物を製造するための、PD-1、PD-L1またはPD-L2の免疫抑制シグナル阻害物質の使用に関するものであり、文献1のAbstract, Claims,第 82° ・ジ第 67° では、免疫賦活組成物、癌治療組成物を製造するための、PD-1、PD-L1またはPD-L2の免疫抑制シグナル阻害物質の使用が、記載されていることから、請求の範囲1-11、23-26は、新規性を有しない。

請求の範囲27-33は、PD-L1またはPD-L2を発現するように形質転換さらたスクリーニング用癌細胞株、該細胞を用いた免疫賦活物質のスクリーニング方法、該細胞株を移植した作出した哺乳動物、該哺乳動物を用いた癌治療物質といて、阻害すべき物質を用いて該阻害薬をスクリーニングする方法、そのためのに、阻害物質を発現する細胞株又は動物などの系は、当業者が容易に想到し得るものでありら、文献1-5のPD-1、PD-L1またはPD-L2の免疫抑制シグナル阻害物質が免疫賦活作用及び癌治療作用があるという記載から、PD-L1またはPD-L2を発現するように形質転換さらたスクリーニング用癌細胞株、該細胞株と発現活物質のスクリーニング方法、該細胞株を移植した作出した哺乳動物、該哺乳動物を用いた癌治療物質の選別方法は、当業者にとって自明である。よって、請求の範囲27-33は進歩性を有しない。



国際出願番号 PCT/JP03/08420

第VI欄 ある種の引用文献

1. ある種の公表された文書 (PCT規則70.10)

出願番号 特許番号	公知日 (日.月.年)	出願日 (日.月.年)	優先日(有効な優先権の主張) (日.月.年)
WO 03/042402 A2	22.05.2003	12.12.2002	13.12.2001
[EX] WO 03/011911 A1 [EX]	13.02.2003	30.07.2002	31.07.2001
WO 02/078731 A1 [EX]	10.10.2002	02.04.2002	02.04.2001

2. 魯面による開示以外の開示 (PCT規則70.9)

魯面による開示以外の開示の種類	舂面による開示以外の開示の日付	審面による開示以外の開示に言及している
	(日.月.年)	書面の日付(日.月.年)